

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業 くるみ教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 20日 ~ 2024年 12月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日 ~ 2024年 12月 10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 15日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者・地域との情報共有	家庭生活や集団での課題や子どもの姿を丁寧に確認し合いながら、関係機関（特に地域保健師さん）とも連携し、具体的な支援内容について共有している。	・日々の連絡ノートのやりとり、発達相談、個別面談、交流会、学習会等を通じ、保護者との情報共有を図れるよう努める。
2	個々のペースにあわせながら、ゆったりと関わり、子ども達が安心できる環境づくり	基本である遊び・食事・睡眠・排泄、といった生活場面を小集団で過ごし、楽しい経験を重ねている。安心できる居場所を見つけるため、大好きな人を見つけ、遊びの幅を広げるため、保育士が楽しみながら過ごすことを大切にしている。	はじめての集団、子ども達にも保護者の方にも信頼していただけるよう、毎日のかかわりをより丁寧に深めていきたいと思う。
3	チームワークを築きながらの保育・連携	日々の保育の振り返り(反省)に加え、月1回の職員会議、学期ごとの総括会議で子どもの姿を確認し、保育目標の設定をしている。また、反省点や課題を次につなげられるよう、職員間での意識統一を心掛けている。	・保育の振り返りの中で、集団保育での課題へつなげ、職員間で共有していく。 ・事業所内・外への研修計画、参加を積極的におこない、スキルアップにつなげる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	くるみ教室		公表日	2025年1月10日				
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	1	0	1	・子ども達は走り回ったりしています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26	0	1	0	・子ども達をちゃんと見てくれていると思います。自分の子どものことも細かく教えてくれています。	・子どもたちの姿を把握し、その場に応じた丁寧な対応ができるよう努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	2	0	0	・絵本棚は、見やすく手に取りやすい。子どもも選びやすいみたいです。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	3	0	0	・清潔で心地よく過ごせる環境になっている。 ・教室の前の道は車の通りが多く、子ども達が過ごす時間は門を閉めておくと安心だと思います。(不審者侵入防止のためにも)	・危険個所や死角になりやすい場所を確認、点検しながら、清潔を保つよう努めます。 ・車道沿いの門扉は、登降園時間帯以外は基本的に閉めています。また、防犯カメラの設置も完了しています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	23	3	0	1	・一人一人見てくれていると思います。子どもも言葉を話せるように少しづつなっています。 ・よく慣れている先生方なので対処が的確だと思う。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	0	0	3		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	25	0	0	2		・できる限り、保護者の願いに寄り添い、子ども達の姿を確認しながら計画作成ができるよう努めています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	0	0	2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	1	0	0	・製作や散歩、リズムなどいろいろできて楽しいです。	・後追いの保育にならないよう、子ども達や集団のカラーに合わせた内容を計画、実行できるよう保育士も楽しみながら考え工夫していきたいと思います。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	4	4	9		・土曜の並行通園児のグループでは、地域の集団に通う子どもたちが通所してくれているため、情報交換の場になっていると感じます。
支援・教育・学習環境	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	1	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	0	1	・言葉がなかなかでず、教室に通いすごく成長しています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	2	0	3	・情報や対応の仕方も勉強できると嬉しい思います。 ・勉強会や保護者の話し合う時間もあり、悩みをかけて嬉しいです。	・交流会や学習の場を保障するために、職員も学ぶ機会を大切に感じています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	24	2	3	0	・その日の出来事をきちんと教えて助かります。	・子どもたちの弱い部分等も伝えられる機会を作り、特に進路を決める際には、発達相談員や保健師などとも連携しながら、共理解ができるようにしています。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	4	1	2	・定期的ではないと思うが、こちらから質問すると教えていただける。 ・あまり通えていないです、助言頂けるとありがたいです。 ・親子保育のときや送迎の時に伝声たちと話せたりするので、聞きたいことも聞け嬉しいです。 ・どちらかというと、個別というより集団で見てくれている。	・連絡ノート、またはそれ以外でも、保護者のご意見や悩みを聞く等の面談の機会を設けられるよう努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	2	0	0	・親のしんどさなどわかつていただけるように思えるのでありがとうございます。 ・トイレトレーニングものびのびできて、家でも少しずつできています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21	3	1	2	・きょうだい同士の交流はない。 ・運動会やクリスマスなどイベントがあって嬉しいです。 ・きょうだいを見るほど人数が足りていないと思う。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	3	0	3	気になることを聞いてみると、ちゃんと教えてくれたりしているのでありがとうございます。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1	0	0	教室での出来事を話してくれます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	0	1	8	連絡ノートに出来事や食事の量やおむわりなどについてもちゃんと書いてくれます。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	0	7	風邪やインフルエンザの子どもがいる時、ちゃんとと言ってくれて感染しないようにできるので助かります。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	0	1	7	避難訓練をした後、家でも机の下にもぐって「こわい」と言っているので少し安心しました。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1	0	5	外の遊具では、滑り台の下にマットを敷いてくれていて、ケガの心配はないと思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	0	7	・その場に遭遇していないのでわかりません。 ・ケガをしたら、ちゃんと説明があり、連絡ノートに書いてくれます。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26	1	0	0	・土曜の限られた日程での参加なので、私用や体調不良と重なることも多くなかなか参加できない時が多いですが、安心して通えています。 ・朝起きたら教室に「行く」と言っているので、楽しく安心していると思います。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	0	0	0	・楽しい所という認識で自分から行きたがります。 ・教室の友だちの名前や先生のことまで話してくれるで楽しいみたいです。	・子ども達、保護者の方が楽しく通える教室を目指していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	3	0	0	・親は満足していますが、製作が得意でない息子は、もっと体を動かしたそうにしています。 ・すごく成長していると思うので、満足しています。	・子どもの年齢や集団に合わせた保育内容や時間配分を考えられるよう、職員一同、再確認していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		くるみ教室				公表日	2025年1月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	活動内容により、部屋や空間の使い分けを工夫しています。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	1	本来の配置基準は、5人に対して1人の職員であるが、それよりも多めの体制を心掛けています。	細やかな対応がしきれていない点も踏まえ、目が行き届くような関わりや体制の見直しを考えています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1		日々、清潔を保ち活動しやすい空間を作りたい。手洗いや、食後の消毒など清潔を保てるように努めています。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	1	日々の保育の振り返り(反省)に加え、月1回の職員会議、学期ごとの総括会議で子どもの姿を確認し目標設定をしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	法人内研修に参加し、伝達研修を行っています。また、事業所内での研修も行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	9		法人内の評価を行うなど、現在検討中。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	子どもの姿や保護者の願いをもとに、アセスメントシートを作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0			

供 託	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	9		個別活動ではなく、集団保育の中での姿を確認しながら計画を作成しています。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	保育前の朝礼で、児童や保護者の状況を確認し、その都度の対応にあたれるよう努めています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	毎回の保育終了後、反省と振り返りを行い、次の保育につながるよう努めています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	保育日誌や、個別のケース記録等を作成しています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	1	できる限り、管理者が出席できるよう努めています。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0		
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	11		就学への該当児は現在なし
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	11	0		
児 童 と の 接 触	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	0	11		
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0		
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	8		
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
児 童 と の 接 触	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	2		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	0		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0		避難訓練を親子で実施しているが、もう少し回数や場の想定のバリエーションを増やしていけたらと思っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	事前に保護者に献立を確認いただき、調理室との連携に努めています。また医師の意見書によりアレルギーの解除をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	法人内の虐待予防チェックリストの活用、研修への参加をしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	0	11		乳幼児に対して、身体拘束という言葉が適切ではないと感じるが、子どもの意思を尊重しながらの対応を心掛けています。